

## 才能を生かす才能

学生時代、  
演奏家としての道を志す友人がいました。

まだ無名の時代に、  
彼が、呟くように  
語っていた言葉を思い出します。

自分の才能を信じられなければ、  
この道は歩めないよ。

その友人と、二十年の歳月を経て、会いました。  
彼は、演奏家として、  
すでに、社会的な名声を得ていました。

久しぶりに聞いた演奏に感銘を受け、  
昔を思い出し、彼に言いました。

君には、やはり才能があったのだね。

その言葉に対して、  
彼は、ためらいながら、語りました。

自分には才能がある。  
そう思ってしまうことが、  
怖いことなのだね。

二十年の歳月を経て語られた  
正反対の二つの言葉。

その言葉を前に、思います。

己の才能を、信じるべきときに、信じ、  
過信すべきでないときに、過信しない。

そのバランス感覚こそが、  
才能を生かす才能、なのかもしれません。